

平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年11月13日

上場会社名 株式会社フジコー 上場取引所 東
 コード番号 3515 URL http://www.fujico-jp.com
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)野添 誉之
 問合せ先責任者 (役職名)常務取締役 総務、経理・財務担当 (氏名)村田 義樹 (TEL)072(772)1101
 四半期報告書提出予定日 平成27年11月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	4,595	1.1	△115	—	△68	—	△54	—
27年3月期第2四半期	4,547	1.2	△129	—	△90	—	△67	—

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 △68百万円(—%) 27年3月期第2四半期 △34百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	△11.74	—
27年3月期第2四半期	△14.50	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第2四半期	13,168	9,305	70.7
27年3月期	13,580	9,406	69.3

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 9,305百万円 27年3月期 9,406百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	8.00	8.00
28年3月期	—	0.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	8.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,150	8.1	120	—	200	146.8	120	835.0	25.75

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

28年3月期2Q	5,000,000株	27年3月期	5,000,000株
② 期末自己株式数	340,536株	27年3月期	340,018株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	4,659,712株	27年3月期2Q	4,660,009株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策や日銀の金融緩和等により輸出企業を中心とした企業業績の回復や雇用環境の改善が続く中、個人消費の持ち直しやインバウンド需要の拡大等を背景として、足取りは重いものの緩やかな回復基調で推移しました。しかしながら、中国経済の減速懸念や米国の利上げに対する警戒感等により、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループとしましては、如何なる環境変化にも対応して、持続的発展を遂げられるよう、全力を使って付加価値を創出する、を基本方針に、品質の向上、原価低減、人材の適正配置を運営方針に掲げ、全社一丸となって実践に当たってまいりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間における業績につきましては、売上高は45億95百万円（前年同四半期比101.1%）となりました。利益面におきましては、PT. FUJIKO INDONESIAの本格稼働に伴う経費負担等により、営業損失1億15百万円（前年同四半期は営業損失1億29百万円）、経常損失68百万円（前年同四半期は経常損失90百万円）となりました。

なお、親会社株主に帰属する四半期純損失は、繰延税金資産の回収可能性を見直した結果、54百万円（前年同四半期は四半期純損失67百万円）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

環境・エネルギー資材

環境資材については、耐熱フィルターを中心に環境資材関連の受注の下振れにより軟調に推移しました。また、エネルギー資材については、市況の回復の遅れ等によりやや軟調に推移しました。その結果、環境・エネルギー資材事業では、売上高は8億86百万円（前年同四半期比94.6%）セグメント利益は42百万円（前年同四半期比41.2%）となりました。

工業資材

工業資材については、OA機器用、各種産業用資材ともに、販売は好調に推移しました。その結果、工業資材事業では、売上高は16億81百万円（前年同四半期比113.7%）セグメント利益は1億90百万円（前年同四半期比102.2%）となりました。

建装・自動車資材

建装資材については、展示会等の各種カーペットの受注を中心に堅調に推移しました。自動車資材については、受注は安定しておりますが自動車メーカーの海外シフト等により販売は軟調に推移しました。その結果、建装・自動車資材事業では、売上高は17億33百万円（前年同四半期比93.9%）セグメント利益は87百万円（前年同四半期比45.0%）となりました。

その他

その他事業については、電気資材、衣料資材、帽子帽材等ともに、販売ルートの強化及び新規市場の開拓に取り組む、販売は堅調に推移しました。その結果、その他事業では、売上高は2億93百万円（前年同四半期比103.0%）セグメント利益は10百万円（前年同四半期比25.7%）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(1) 資産・負債及び純資産の状況

当第2四半期連結累計期間末における財政状態につきましては、総資産が131億68百万円と前連結会計年度末に比べて4億11百万円の減少となりました。これは主に、たな卸資産が1億96百万円増加し、現金及び預金が2億5百万円、受取手形及び売掛金が2億96百万円それぞれ減少したことによるものであります。

負債の部は、38億63百万円となり、前連結会計年度末に比べて3億10百万円減少となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が1億57百万円、長期借入金（1年内返済予定を含む）が94百万円それぞれ減少したことによるものであります。

純資産の部は、93億5百万円となり、前連結会計年度末に比べて1億1百万円減少となりました。これは主に、利益剰余金が87百万円、その他有価証券評価差額金が28百万円それぞれ減少したことによるものであります。

(2) キャッシュ・フローに関する分析

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下資金）は、15億82百万円と前連結会計年度末と比べ2億59百万円（19.6%）増加しました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュフローは、5百万円の収入（前第2四半期連結累計期間は84百万円の支出）となりました。これは主に、減価償却費1億69百万円、売上債権の減少額3億2百万円等による資金の増加と、税金等調整前四半期純損失25百万円、たな卸資産の増加額1億93百万円、仕入債務の減少額1億93百万円、法人税等の支払額41百万円等の資金の減少によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間の投資活動によるキャッシュフローは、4億51百万円の収入（前第2四半期連結累計期間は2億25百万円の支出）となりました。これは主に、定期預金の払戻による収入4億65百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間の財務活動によるキャッシュフローは、2億2百万円の支出（前第2四半期連結累計期間は6百万円の支出）となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出94百万円、社債の償還による支出50百万円、配当金の支払額36百万円等の資金の減少によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期第2四半期の業績予想につきましては、平成27年11月6日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」の通り修正を行っております。また、通期の業績予想につきましては、平成27年5月19日に発表しました通り変更ありません。

なお、業績予想は現時点で入手された情報に基づき判断した予想であり、潜在的リスクや不確実性が含まれております。従いまして、実際の業績は様々な要因により上記の予想とは異なることがあります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第1四半期連結会計期間より、重要性が増したため三和氈子香港有限公司を連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日）等を、第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,293,179	2,087,284
受取手形及び売掛金	2,896,841	2,600,077
電子記録債権	459,388	482,633
商品及び製品	1,286,311	1,354,469
仕掛品	335,717	389,921
原材料及び貯蔵品	541,013	600,028
繰延税金資産	95,597	100,841
その他	116,537	113,977
貸倒引当金	△6,044	△6,137
流動資産合計	8,018,541	7,723,095
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,185,799	3,198,990
減価償却累計額	△1,652,168	△1,696,694
建物及び構築物(純額)	1,533,631	1,502,296
機械装置及び運搬具	6,120,134	6,133,898
減価償却累計額	△5,456,834	△5,517,952
機械装置及び運搬具(純額)	663,300	615,946
土地	1,619,435	1,626,929
建設仮勘定	2,810	14,389
その他	456,137	481,902
減価償却累計額	△255,744	△270,130
その他(純額)	200,393	211,771
有形固定資産合計	4,019,570	3,971,334
無形固定資産		
のれん	52,878	39,658
ソフトウェア	131,463	115,966
その他	30,791	37,430
無形固定資産合計	215,134	193,055
投資その他の資産		
投資有価証券	1,151,193	1,095,490
繰延税金資産	83,647	96,690
その他	138,065	102,983
貸倒引当金	△45,600	△13,851
投資その他の資産合計	1,327,306	1,281,313
固定資産合計	5,562,010	5,445,703
資産合計	13,580,552	13,168,798

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,628,343	1,470,479
短期借入金	350,000	350,000
1年内償還予定の社債	50,000	100,000
1年内返済予定の長期借入金	189,392	339,392
未払法人税等	47,282	47,431
未払費用	107,777	126,267
賞与引当金	150,005	152,007
その他	242,801	175,717
流動負債合計	2,765,602	2,761,295
固定負債		
社債	100,000	-
長期借入金	541,232	296,536
退職給付に係る負債	475,653	490,679
その他	291,331	314,728
固定負債合計	1,408,217	1,101,943
負債合計	4,173,820	3,863,238
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,716,300	1,716,300
資本剰余金	1,599,813	1,599,813
利益剰余金	5,977,876	5,890,577
自己株式	△222,092	△222,392
株主資本合計	9,071,896	8,984,298
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	216,392	188,076
為替換算調整勘定	149,453	159,610
退職給付に係る調整累計額	△31,010	△26,425
その他の包括利益累計額合計	334,835	321,261
純資産合計	9,406,732	9,305,559
負債純資産合計	13,580,552	13,168,798

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	4,547,298	4,595,874
売上原価	3,720,467	3,731,660
売上総利益	826,831	864,213
販売費及び一般管理費	956,622	979,981
営業損失(△)	△129,791	△115,767
営業外収益		
受取利息	3,973	3,135
受取配当金	6,999	7,512
不動産賃貸料	39,699	40,423
その他	7,707	17,433
営業外収益合計	58,379	68,506
営業外費用		
支払利息	9,264	10,830
売上割引	3,826	5,622
不動産賃貸原価	3,723	4,054
その他	1,777	502
営業外費用合計	18,592	21,010
経常損失(△)	△90,003	△68,272
特別利益		
固定資産売却益	13	-
投資有価証券売却益	-	42,873
その他	-	620
特別利益合計	13	43,493
特別損失		
固定資産除却損	90	248
特別損失合計	90	248
税金等調整前四半期純損失(△)	△90,080	△25,026
法人税、住民税及び事業税	32,279	35,266
法人税等調整額	△54,783	△5,601
法人税等合計	△22,504	29,664
四半期純損失(△)	△67,575	△54,691
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△67,575	△54,691

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
四半期純損失(△)	△67,575	△54,691
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	52,076	△28,316
為替換算調整勘定	△22,755	10,156
退職給付に係る調整額	3,741	4,584
その他の包括利益合計	33,062	△13,574
四半期包括利益	△34,513	△68,265
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△34,513	△68,265
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	(単位：千円)	
	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△90,080	△25,026
減価償却費	165,292	169,893
のれん償却額	13,219	13,219
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	35,108	21,754
貸倒引当金の増減額(△は減少)	20,024	93
受取利息及び受取配当金	△10,973	△10,648
支払利息	9,264	10,830
有形固定資産売却損益(△は益)	△13	—
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△42,873
有形固定資産除却損	90	248
売上債権の増減額(△は増加)	54,932	302,101
たな卸資産の増減額(△は増加)	△102,817	△193,654
仕入債務の増減額(△は減少)	△99,946	△193,689
その他	△34,772	△11,294
小計	△40,671	40,954
利息及び配当金の受取額	10,585	12,368
利息の支払額	△9,417	△11,095
法人税等の還付額	—	4,527
法人税等の支払額	△45,228	△41,723
営業活動によるキャッシュ・フロー	△84,732	5,031
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△950,000	△504,400
定期預金の払戻による収入	950,000	970,000
有形固定資産の取得による支出	△194,742	△70,708
有形固定資産の売却による収入	13	—
投資有価証券の売却による収入	—	58,800
無形固定資産の取得による支出	△31,004	△2,384
貸付金の回収による収入	116	116
投資活動によるキャッシュ・フロー	△225,616	451,422
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△94,696	△94,696
セール・アンド・リースバックによる収入	135,147	—
リース債務の返済による支出	△9,636	△20,139
社債の償還による支出	—	△50,000
自己株式の取得による支出	△17	△299
配当金の支払額	△37,067	△36,907
財務活動によるキャッシュ・フロー	△6,268	△202,043
現金及び現金同等物に係る換算差額	14,996	△8,963
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△301,621	245,447
現金及び現金同等物の期首残高	1,737,110	1,323,179
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	14,257
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,435,489	1,582,884

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。